

### 意見交換テーマ

## 新型コロナウイルス感染症に関する地域での対応状況について

### 趣旨

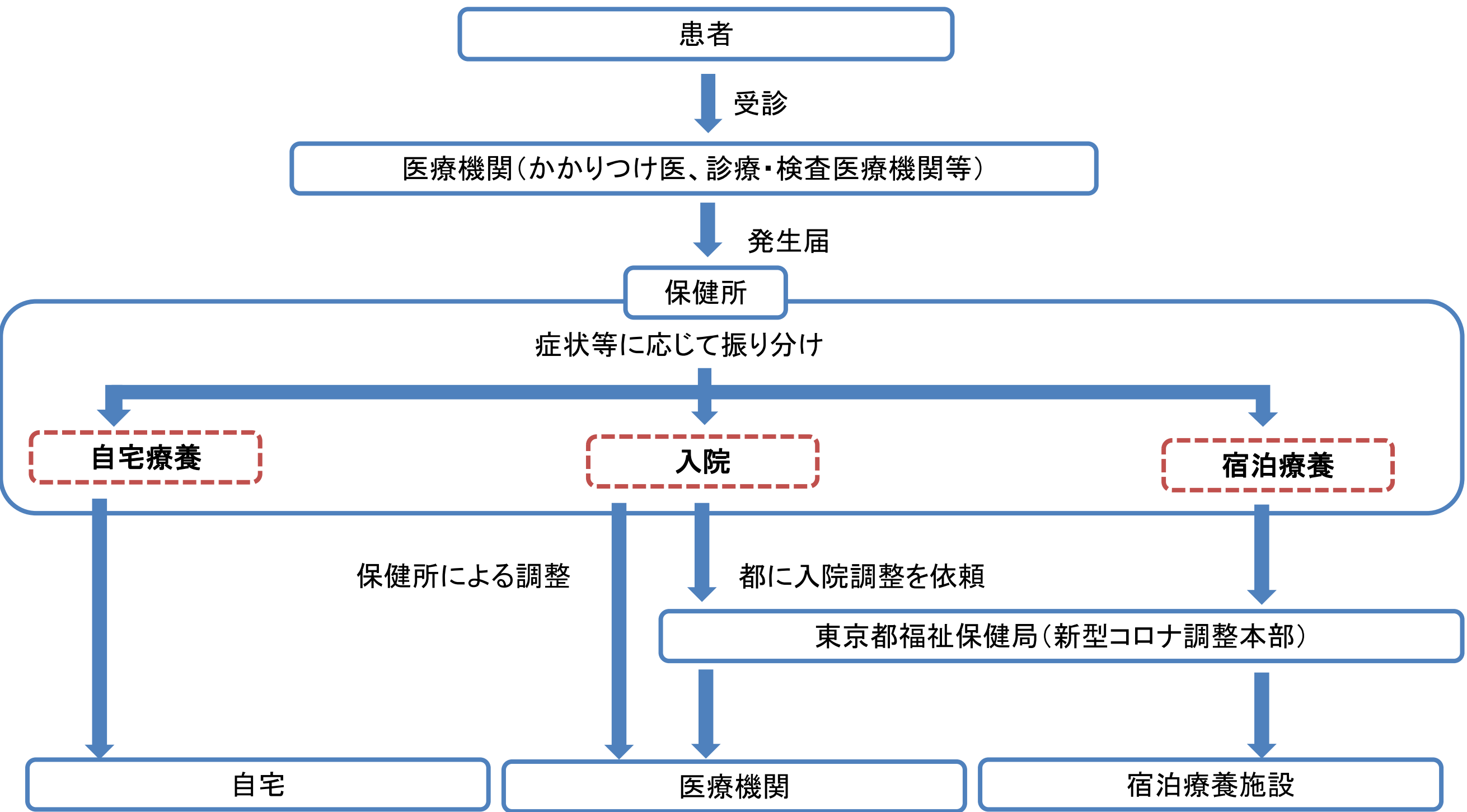
新型コロナウイルス感染症への対応が長期化するなか、本年4月から新型コロナワクチンの接種が始まったところであるが、引き続き、医療機関や医師会、行政等が役割分担の下、地域の医療提供体制を確保していく必要がある。

そのため、医師会（かかりつけ医）、行政（保健所・区市町村）、病院（（高度）急性期機能）及び病院（回復期・慢性期機能）の立場から、昨年度の調整会議で出された課題（参考資料3、4参照）や第3波・第4波等の経験も踏まえ、上手く行った取組やその要因、問題となった点、現在の対応状況について、意見交換及び情報共有を行う。

（例）

- 保健所における入院・宿泊療養調整等の状況について
- 行政におけるワクチン接種業務の状況について
- 医療機関の役割に応じた患者の受入れについて
- 関係者間の情報共有について

新型コロナウイルス感染症陽性患者 入院調整・宿泊療養調整等のフロー図



今後の取組の方向性

新型コロナウイルス感染拡大に備え、地域医療提供体制の確保に向けた継続的な取組が必要

共通認識が図れた役割分担の考え方

- 一律の入院病床の振り分けではなく、病院の規模や機能に応じた役割分担と病床の振り分けが必要
- 行政を中心として医師会や病院を含めた、関係者間の緊密な情報共有が必要

各圏域から出された共通の課題

- 軽症患者が重症化した場合の受入れ先(転院)の確保【入口戦略】
- 重症患者の軽快後の受入れ先(転院)の確保【出口戦略】
- 各医療機関の患者受入状況の迅速な把握・情報共有手段の確立【連携方法】

各圏域別の課題

区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定機能病院等の機能分担</li> <li>○各病院の機能に応じた軽症化患者の受入れ先(転院)の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各病院の機能に応じた役割分担</li> <li>○保健所や医師会、病院等を含めた継続的な情報共有の場の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域内の区同士の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域内の区同士の連携</li> <li>○特定機能病院等の機能分担</li> <li>○各病院の機能に応じた軽症化患者の受入れ先(転院)の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域内の区同士の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各病院の機能に応じた役割分担</li> </ul>
区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部
<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健所や医師会、病院等を含めた継続的な情報共有の場の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数の多い療養施設・精神病院の院内感染対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健所を中心として医師会や病院を含めた継続的な情報共有の場の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報共有の迅速化(Web会議の開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報共有の迅速化(Web会議の開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健所を中心として医師会や病院を含めた継続的な情報共有の場の設置</li> </ul>

第1回調整会議意見まとめ

テーマ:「感染症医療の視点を踏まえた連携と役割分担の課題について」

○新型コロナ感染拡大に備え、地域医療提供体制の確保に向けた継続的な取組が必要

- ・一律の入院病床の振り分けではなく、病院の規模や機能に応じた役割分担と病床の振り分けが必要
- ・行政を中心として医師会や病院を含めた、関係者間の緊密な情報共有が必要

第2回調整会議で出された主な意見

テーマ:「新型コロナウイルス感染症に関する地域での対応について」

課題	主な意見	都における取組
①患者の受入れ先(入転院)の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症患者受入れ病床の逼迫</li> <li>・入院重点医療機関等での患者が重症化した場合の対応が困難</li> <li>・透析患者、認知症患者や介護施設等入居者等は受入れ先の確保が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定機能病院や救命救急センターを有する病院等へ重症病床の増床要請</li> <li>・都立・公社病院の病床数の拡充</li> <li>・新型コロナウイルス陽性患者入院調整本部による広域的な入院調整</li> </ul>
②患者の軽快後の受入れ先(転院)の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ軽快後も転院先がなく、退院基準を満たした患者等の転院等、受入れ体制の整備が必要</li> <li>・入院が長期化し、ADLの低下によって自宅や施設に戻れない高齢患者等を病院間で連携しながら診ていくことが重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院基準を満たした患者等の転院を受入れる回復支援病院の確保(財政的支援を含む)</li> <li>・回復支援病院の関係機関への情報提供、東京都多職種連携ポータルサイト(転院支援情報システム)の活用</li> </ul>
③患者受入状況の把握・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各病院の患者受入れ状況の把握が必要</li> <li>・Web会議の実施等により関係者間の情報共有が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都多職種連携ポータルサイトの活用</li> <li>・陽性患者の発生から入院療養情報等を一元管理するシステムの検討</li> </ul>